

2015年12月 第60号

ひとひと
女と男

きらめき

発行 沖縄市役所 市民部 平和・男女共同課
沖縄市男女共同参画センター〒904-0003 沖縄市住吉1丁目14番29号(3階)
TEL(098)937-0170 FAX(098)937-0175

Kirameki

OKINAWA

佐々木常夫講演会

沖縄市男女共同参画推進事業
(第15回きらめきフェスタ)

私は仕事も家族もあきらめない



講師：佐々木 常夫 氏

(株) 佐々木常夫マネジメント・リサーチ代表取締役、元 東レ経営研究所社長

病気の妻と障がいのある長男を守るため、毎日定時に退社しながら一流企業のトップにのぼりつめた、佐々木氏のワーク・ライフ・バランスとは？

講師 プロフィール

秋田市生まれ。1969年、東京大学経済学部卒業後、東レ株式会社に入社。家庭では自閉症の長男と肝臓病とうつ病を患う妻を抱えながら会社の仕事でも大きな成果を出し、01年、東レの取締役、03年に東レ経営研究所社長に就任。内閣府の男女共同参画会議議員、大阪大学客員教授などの公職も歴任。「ワーク・ライフ・バランス」のシンボリック的存在である。

著書に『ビッグツリー』『そうか、君は課長になったのか』『働く君に贈る25の言葉』『リーダーという生き方』(以上、WAVE出版)、『ビジネスマンに贈る生きる「論語」』(文藝春秋)『それでもなお生きる』(河出書房新社)『実践・7つの習慣』(PHP研究所)などがある。

参加無料

日時：平成28年 1月22日(金)

開演19時(開場18時30分)

場所：沖縄市民小劇場あしびなー

対象：市内在住または在勤者

受付締切日：平成28年1月14日(木)

申込方法：電話、FAX、Eメールにてお申し込みください。(事前申し込みが必要です) 先着順受付
FAXやEメールでお申し込みの場合は、次のことを記載して下さい。

・件名「佐々木常夫講演会受付」 ・氏名、住所、電話番号 ・託児をご予約の方は子どもの名前、年齢(月齢)

※FAX、Eメールでお申し込みの方へは、申込完了のご連絡を1週間以内にいたしますが、連絡がない場合はお問い合わせ下さい。

無料託児有り
(要予約、先着順)
6ヶ月から4年生まで

平成28年1月に沖縄市男女共同参画センターは、開所から5周年を迎えます。そこで、今年度の第15回きらめきフェスタにてセンター開所5周年記念講演会を開催します！

申込・
問合せ先

沖縄市男女共同参画センター 沖縄市住吉1丁目14番29号(3階)
Tel 937-0170 (土・日・祝日を除く平日午前9時~17時)
Mail to : a32sankaku@city.okinawa.okinawa.jp Fax : 937-0175

報告

沖縄市男女共同参画センター主催講座

性同一性障害というギフトから学んだ

『ありのままの **自分** を輝かせる方法』

～いろんな生きづらさを抱えて生きるすべての方に～

今回の講座は、男女共同参画社会の実現のためには、男女共同参画の視点に立って誰もが安心して暮らせる「まちづくり」という視点も含めた環境整備に努めると共にセクシュアル・マイノリティ（性的少数者）であることを理由にした差別や偏見の解消をめざした啓発を目的に10月17日（土）に開催しました。

講師には、澤岬良心^{りょうと}さんをお招きし、幼少期に、女の子の友達と遊んでいる時「男になりたい」という思いを「変だ」と言われ自分の思いを封印することから、波乱万丈の人生が始まります。「何で生まれてきたんだろう?」「何で生きているんだろう?」「自分は、この世に存在していい人間なのか?」心と身体が一致しない現実の中で、過ぎて行く苦悩の日々。

しかし、ある日「自分らしく生きる」ことを決心し、家族へカミングアウトすることで変わり始める人生。澤岬さんは最後に「【性同一性障害】であることをカミングアウトして失ったものは、女という性別だけです。」その力強い言葉は澤岬さんが、今、「自分らしく生きている」という自信に充ち溢れた言葉にさえ感じられました。たくさんの受講者のみなさんが「勇気と元気」をもらったのではないのでしょうか!



沖縄市社会福祉センター
（沖縄市男女共同参画センター複合施設）
にて講演する澤岬良心氏

プロフィール

澤 岬 良 心（たくし りょうと）
株式会社 rainbowinnovation 代表取締役

1981年 沖縄県那覇市に長女として誕生
2007年 タイにて性別変更手術を受ける
2008年 改名と性別変更の許可が下りる
2009年 最愛の女性と結婚
2013年 待望の第一子である長女誕生

～受講者の声から～

- ・当事者ですが、とてもわかりやすく勇気もらった。 ・もっと沖縄でLGBTに関することを広げたい。
- ・誰もが自分らしく生きることが出来る社会をめざしたいと思いました。
- ・当事者として声を出し経験談を話してくれたことに勇気づけられ、大変勉強になりました。

女性活躍推進法が成立しました

女性が職業生活において、本人の希望に対して十分に能力を発揮することができ、活躍できる環境を整備するために「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）」が成立しました。（平成27年8月28日）

基本原則

- (1) 女性に対する採用、昇進等の機会の積極的な提供・活用と、性別による固定的役割分担等を反映した職場慣行の影響への配慮が行われること
- (2) 必要な環境整備により、職業生活と家庭生活の円滑かつ継続的な両立を可能にすること
- (3) 本人の意思が尊重されること

詳しい内容は、「厚生労働省」「内閣府男女共同参画局」のホームページなどをご覧ください。



ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和） 実践企業へインタビュー！



沖縄市諸見里にある株式会社サンニン（総合建設業）では、育児休業法の施行前からパートを含む社員へ育児休業を認め、社員へのワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）を支援。「全社員の生活向上の実現」を企業理念の一つに掲げる社長の田中智枝子さんへのインタビューをお届けします！

建設業と聞くと、男性の職場のイメージがありますが。

平成8年設立当初は、女性社員がいませんでした。建設業で女性が働くという認知度が低かったからだと思います。女性社員は、多くのことに気配りができ、お客様へ心地よいサービスが提供できることが強みだと思っています。また、女性がいることで職場の雰囲気も明るくなりました。



育児や介護で時間に制約をもつ従業員に対して、どのようなサポートをされていますか？

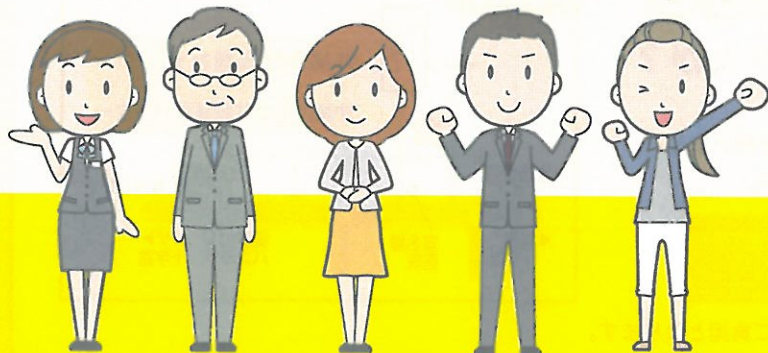
子育て中のパート社員は、本人の都合にあわせて出勤時間を決めています。また、子育て中はどうしてもこどもが急に体調を崩したり等、仕事を休まざるおえないことがあります。個々の社員の業務を可視化・情報の共有化を図り、他の社員がフォローしてお互い助けあって仕事をしています。また、男性社員で家族の介護のために休む場合は、日ごろの成果を評価し有給で会社も社員の収入面をバックアップしています。

企業にとってワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）はどういった点で必要だと思いますか？

良い仕事をしてお客様に喜んでもらうためには、仕事にメリハリをつけ定時に帰宅し仕事と生活を調和させることが大事だと思っています。仕事時間が長くて生活にゆとりがなければ、疲労もストレスも溜まり、仕事の効率も悪くなってしまいます。仕事の効率が悪いと、仕事を片づけるのに時間がかかり、生活にゆとりがなくなり、疲労もストレスもどんどん溜まり悪循環に陥ります。本当の意味でのワーク・ライフ・バランスは、仕事と育児や介護との両立支援の整備だけでなく、その会社で働く人全員のワークとライフのバランス、もっと言えば、仕事と生活の相乗効果を考えることが大切だと思っています。また、私どものような小さな会社では、求人募集をかけてもすぐに欲しい人材を探すのが難しい。人材を確保する上でも、育児や介護をしながら働ける環境を整え、長く働いてもらえるのが、会社の存続にもつながると思っています。ワーク・ライフ・バランスは育児や介護の問題のみならず、企業の人材確保の問題等を解決する手段になる企業戦略でもあると思います。

今後の、ビジョンをお聞かせ下さい。

多様なメンバーそれぞれが個性と強みを生かしながら、チームワークとチーム力を高め、お客様に満足と喜びを提供し、地域社会へ貢献できる会社であり続けたい。



株式会社 サンニン 沖縄市諸見里 3-41-1
TEL 0120-1560-32

創業から16年の実績をもつ、バリアフリー工事・リフォーム工事・増改築工事・防水・塗装工事の専門店
従業員：14名



沖縄市女性団体連絡協議会

沖縄市の政策・方針決定の場への関心を高め、有権者としての意識向上を目的に、9月30日(水)沖縄市議会を傍聴してきました!

沖縄市女性団体連絡協議会は、平成3年に結成され現在市内13団体が加盟し述べ1万4千人の会員がいます。平等・発展・平和の理念の下、会員の資質向上と地位向上、男女共同参画社会の実現及び沖縄市の活性化を図ることを目的に活動しています。

～市議会を傍聴して～

屋富祖功議員・栄野比和光議員・新里治利議員の一般質問を傍聴しました。屋富祖議員は、青少年非行やいじめ、ひきこもり等問題行動に対処するため青少年センターを「青少年支援サポートセンター」に格上げ強化、地域社会と連携しながら児童生徒と親を支援サポートするシステム構築について質問をしていました。今後青少年問題、貧困問題等は行政としても、もっと力を入れて取り組まなければならない大きな問題ではないでしょうか。これからの議員のみなさんの活躍に期待します。久しぶりに議会傍聴をして新人議員の活躍ぶりを間近で拝見する事ができました。3名ともある程度面識のある議員でしたが興味深く傍聴することができました。

沖縄市婦人連合会 川上 のり子

今回、市議会傍聴に参加する機会に恵まれました。さて、本会場の議案審議や一般質問について市民の安心安全な生活をめざし、それぞれの議員より「道路行政」「教育行政」「人材育成」や「青少年の健全育成」「中心市街地の活性化」などの審議が活発に行われていました。今後も機会をみつけ市議会傍聴をして勉強したいとおもいます。

沖縄市更生保護女性会 垣花 敏子

沖縄市男女共同参画センター

図書・情報コーナー



沖縄市男女共同参画センターでは、男女共同参画に関する図書(育児、介護、自己啓発、ドメスティック・バイオレンス、ワーク・ライフ・バランスなどをテーマにした本)を扱っています。貸出をご希望の方は貸出申請書に必要事項をご記入の上、身分証明書と一緒に窓口へお申し込みください。

対象	貸出数	期間
市内在住・在勤者	1人：5冊まで	2週間
市内の団体	1団体：10冊まで	



相談室のご案内

つらいきもち、ひとりで抱えていませんか?

家庭や夫婦の問題、職場の問題、恋人間の問題など、相談員が解決の糸口を探すお手伝いをします。年齢、性別は問いません。お気軽にお電話下さい。来所による相談も受け付けています。

毎月第2・第4水曜日(午前10時～午後4時まで)
相談室専用電話番号 937-0196

MAP



※秘密は固く守ります。相談は無料ですが通話料は相談者のご負担となります。